

## 「山田養吉『十竹軒日録』の余談」

講師：畠 眞實（元修道中学校・高等学校校長）

隔週火曜日 18：30-20：00 一回の受講料 1,000 円、定員 30 名

### ★講座の趣旨



写真 山田養吉像

昨年、「広島藩校から修道へ」という講座を 10 回にわたり担当させていただきました。その中で「山田養吉の日記にみる幕末」という題目で 2 回ほど明治時代の広島の社会情勢をお話いたしました。山田養吉の日記には、明治時代の広島に学校が設立されていく様子、社会のありさまなどが折に触れて書かれています。今、目にしている広島が明治時代にはどんな街であったのか、山田養吉の日記に触発され、時には地図を見ながら一緒にたどってみたいと思います。少し歳を召された方には両親の生きられた時代、若い方には郷土発展の原点を知っていただきたいと思います。

### ★講座の内容

- 4 月 25 日 第 1 回 広島藩最後の藩主・浅野長勲（1）——少年時代～小御所会議など
- 5 月 9 日 第 2 回 広島藩最後の藩主・浅野長勲（2）——鳥羽伏見の戦い～イタリア公使など
- 5 月 23 日 第 3 回 志和・広島藩の隠れ城・文武塾——戦時に備えての政事堂・学問所など
- 6 月 6 日 第 4 回 広島大一揆（武一騒動）——廃藩置県後の広島の混乱
- 6 月 20 日 第 5 回 土井百穀の遷喬舎とその後の学校——官立外国語学校～広島第一中学校など
- 7 月 4 日 第 6 回 木原適処——神機隊の結成・広島英学校女子部など
- 7 月 18 日 第 7 回 明治の広島の女学校——広島英和女学校・山中高等女学校など
- 8 月 1 日 第 8 回 隻脚の鬼将軍・佐藤正——日清戦争の武勇・幻の広島市長など
- 8 月 22 日 第 9 回 広島の新報の歴史——日注雑記から中国新聞へ
- 9 月 5 日 第 10 回 春和園と広島街あれこれ——今中大学の別邸・西堂川・広島街の電車など

### ★講師紹介：畠 眞實（はた・まこと）



1936 年広島県生まれ。広島大学文学部国語・国文学専攻卒業、修道中学校・高等学校に勤務、1995 年から 2004 年まで校長を務める。著書は共著として『十竹先生物語』（修道中学校・高等学校発行）と『「日本文学史」副読本』（第一学習社）。また、修道中学校・高等学校の研究誌「紀要」に山田養吉の日記解読を掲載中。趣味：史跡散策、俳句、歌うこと。座右の銘：一期一会。

※ 受講をご希望の方は、①お名前、②年齢、③連絡先住所をご記入の上で E-Mail もしくは FAX にてお申込みください。

広島市中区上幟町 10-15-201 畠田ビル 2F コミュニティ・アカデミー上幟

TEL&FAX： 082-225-8103 E-Mail： [c.a.kaminobori@outlook.jp](mailto:c.a.kaminobori@outlook.jp)

コミュニティ・アカデミー上幟HP <http://manabi-kaminobori.com/>